日本光学会平成 23 年度第 3 回常任幹事会議事録

日　時： 2012 年 3 月 9 日(金)　14：30〜17：05
場　所： 応用物理学会 6 階会議室
参加者： 武田幹事長，他 19 名
議　事：

1. 第 195 回幹事会議事録の確認
・1 点の修正を行った後に承認された．

2. 報告事項

2-1.「光学」関連報告

(1)「光学」編集報告
・編集費予算執行額が昨年度を 10% 程度下回ったことが報告された．
・平成 24 年度の編集委員構成について説明された．

2-2.「OPTICAL REVIEW」関連報告

(1)「OPTICAL REVIEW」編集報告
・投稿数は 108 編であり，特集がないため昨年度よりも減少していることが報告された．
・光学会員からの論文投稿が各幹事へ依頼された．

(2)「OPTICAL REVIEW」出版報告
・International Advisory Member の更新について現在検討中であることが報告された．
・資料の修正点について説明された．

2-3. 講演会関連報告

(1) 平成 23 年度関西講演会（2012. 1. 30）結果報告
・講師 3 名，参加者 34 名であったことが報告された．
・第 45 回関西支部連合講演会の決算について報告された．

(2) 第 38 回冬期講習会（2012. 1. 19-20）収支報告
・収支結果としては黒字となったことが報告された．
・講師謝礼の再考について説明された．

(3) 第7回光応用新産業創出フォーラム（2012. 2. 24）結果報告
・参加者数46名のうち，学生が3名であったことが報告された．
・収支決済について報告され，独立開催としては今回を最後とすることが報告された．

(4) 中国四国支部合同講演会進捗報告
・現在，調整中であることが報告された．

(5) 第 37 回光学シンポジウム（2012. 6. 14-15）進捗報告
・進捗状況について報告された．

(6) Optics & Photonics Japan 2012 進捗報告
・スケジュール案について説明された．
・会場構成や予算概要について説明された．

(7) 平成 23 年度名古屋講演会報告
・2012 年 3 月 26 〜 28 日の間で静岡大学・浜松キャンパスでの開催を調整中であることが報告された．

2-4. その他報告事項

(1) 協賛依頼について
・依頼のあった 5 件について承認済みであることが報告された．

(2) 会員動静について
・11 人増であることが報告された．

(3) 収支計算書について
・収入および支出の説明がなされた．
・例年の同時期と同程度の状況であることが報告された．

(4) 光学会ホームページについて
・新 HP を今年度中にリリースする予定であることが報告された．
・トラフィック解析結果および更新履歴について報告された．
・セキュリティホールに関する報告がなされ，関連するページを削除することとなった．

(5) 高野榮一光科学基金報告
・高野榮一光科学基金発足を記念するパーティーが行われたことが報告された．

(6) 平成 23 年度日本光学会総会について
・2012 年 3 月 16 日に日本光学会総会が行われることが報告された．
・平成 23 年度事業報告および平成 24 年度事業計画について説明された．

(7) 研究グループ事業報告・事業計画について
・研究グループ事業報告・事業計画について説明された．

(8) 平成 23 年度収支決算報告書について
・収支決算結果について説明され，赤字分は想定通りであることが報告された．
・OR 投稿料の支払い状況について報告された．

3. 審議事項

(1)「OPJ ベストプレゼンテーション賞」規定の改定について
・項目 8 を削除する改定案が承認された．
・項目 3（1）に関して，大会開催年度の 4 月 1 日において満 30 歳以下のものとする改定案が承認された．

(2) 研究グループ補助金申請について
・事務手続きの簡素化に関連して，補助金申請に関する手続きの変更について説明された．
・11 グループからの補助金申請が承認された．
(3) 会誌「光学」の広告業務料の改定について
・アドコム・メディア社より，広告数の減少に伴う広告の定額契約（50 万円 / 月）の変更を依頼されたことが説明された．
・歩合制への移行が承認され，幹事長，副幹事長，会計幹事と事務局に交渉が一任された．
(4) 応用物理学会への委員選出
・光学会からプログラム編成委員会に委員を選出するよう応用物理学会から依頼されたことが報告された．
・光学会として代表者を選出することが了承された．

2012 年度光みらい奨励金（コニカミノルタ科学技術振興財団賞）募集

日本光学会では，光科学技術を新産業に結びつけていくことができる独創的な研究を支援することを目的として，「光みらい奨励金（コニカミノルタ科学技術振興財団賞）」を募集いたします．

日本光学会の会員の皆様が，将来社会に向けて大きなビジョンを描き，日本光学会のブレインネットワークの場を活用して独創的な研究を続けていただく一助になることを期待しております．これから自らのアイデアを実現しようとする若手研究者の皆様の応募をお待ちしております．奮ってご応募ください．

趣　旨： 新産業の創出につながるようなポテンシャルの高い光科学技術を進歩させるために，次世代を担う独創的な研究の奨励ならびに若手研究者の育成を目的とする．

募集分野：「光学」に関連する研究で，すでに研究途上のものでも，これから始めるものでもよい．基礎研究，応用研究のいずれでもよい．海外や他の分野との共同研究でもよい．

応募資格： 日本光学会会員（学生会員含む）

採択件数： 光みらい若手奨励金（30 万円）1 件，光みらい学生奨励金（5 万円）2 件

応募方法： 日本光学会ホームページより申請フォーマットをダウンロードし，必要事項（題目，背景，研究内容，目標，社会貢献，奨励金の使途概略）を記載し，PDF ファイルで送付．日本光学会ホームページ http://annex.jsap.or.jp/OSJ/

応募締切： 2012 年 9 月 15 日

選考および結果の通知： 選定結果は2012年12月ごろに，申請のあった会員に通知する．採択された場合は，研究題目，研究代表者の氏名，所属機関等を公表する．不採択の場合は申請書の内容は公表しない．

奨励金の使途： 物品購入，学会発表や情報収集のための海外渡航費など，研究目的であれば使途は限定されない．また，研究目的達成のためであれば申請書記載内容から変更しても差し支えない．

奨励金受給者の義務： 2013 年 12 月 31 日までに研究報告書を提出する．光みらい若手奨励金の受賞者は，研究成果を日本光学会の主催する会合で発表する．

申請書提出先・問合せ先：コニカミノルタテクノロジーセンター(株)　NC 事業推進室　佐藤　彰
電話 042-660-9415
E-mail: hikari-mirai2012@konicaminolta.jp

後　援： 公益財団法人コニカミノルタ科学技術振興財団

なお，応募者の個人に関する情報は，日本光学会による研究会やフォーラムの案内，広報支援活動等の情報提供に利用させていただくことがあります．

日本光学会 *news* の掲載申込先：
〒 112-8681　東京都文京区目白台 2-8-1　日本女子大学理学部数物科学科　小川賀代
電話 / Fax 03-5981-3633　E-mail: ogawa@optnet.jwu.ac.jp
なお，掲載申込は原則として発行日（10 日）から 2 か月前の 15 日まで，開催日が 1〜10 日の場合は，開催日の 3 か月前の 15 日までにお願いします．
掲載にあたっては，「日本光学会 *news*」および「光学関連会合予定」の掲載基準（http://annex.jsap.or.jp/OSJ/kogaku/news-keisai.html）をご確認ください．

日本光学会平成 24 年度幹事（*常任幹事）

幹事長：	渡辺　正信＊	（産総研）		
副幹事長：	伊藤　雅英＊	（筑波大）	菊田　久雄＊	（大阪府立大）
前幹事長：	武田　光夫	（宇都宮大）		
庶務幹事：	石橋　茂雄＊	（NTT）	伊藤　昌弘＊	（リコー）
	野村　　博＊	（東芝）	内田　恒夫＊	（パナソニック）
	横田　正幸＊	（島根大）	山本　健詞＊	（情報通信研究機構）
	石丸伊知郎＊	（香川大）	小倉　裕介＊	（阪大）
	小川　賀代＊	（日本女子大）	松宮　一道＊	（東北大）
『光学』編集幹事：	川田　善正＊	（静岡大）	吉川　宣一	（埼玉大）
『Optical Review』編集・出版幹事：	植田　憲一＊	（電通大）	今井　　洋＊	（茨城大）
国際協力幹事：	白井　智宏	（産総研）	安井　武史	（徳島大）
産学協力幹事：	渡部　一雄	（東芝）	鈴木　二郎	（三菱電機）
事業・企画担当幹事：	辻　　俊彦	（キヤノン）	木村　伸司	（HOYA）
	瀧川　雄一	（ニコン）	福島　郁俊	（オリンパス）
	緒方　伸夫	（シャープ）	辻　健一郎	（防衛大）
	野口　一能	（コニカミノルタオプティクス）	原田　康浩	（北見工大）
	四方　潤一	（日大）	中嶋　芳雄	（富山大）
	明田川正人	（長岡技術大）	冨木　政宏	（静岡大）
	似内　映之	（和歌山大）	仁田　功一	（神戸大）
	原口　雅宣	（徳島大）	鈴木　恵友	（九州工大）